

座長：青井弘子(一宮市立市民病院患者サポートセンター・医療福祉連携士3期生)
中村起也(広南会広南病院神経内科・医療福祉連携士4期生)

佐々木美奈子(東京医療保健大学医療保健学部看護学科教授)

(4)「医師・医療安全管理者の立場から、調査結果への講評」

兼児敏浩(三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授)

基調講演

「地域包括ケアシステムの構築と医療福祉連携」

家田康典(関東信越厚生局地域包括ケア推進課課長)

(1)「地域医療連携担当医師が医療福祉連携士だとうなる！」

石神直之(藤枝市立総合病院診療部心臓血管外科副院長(地域医療連携担当)・医療福祉連携士4期生)

(2)「急性期病院における医療福祉連携士の役割と効果」

有賀照子(山梨県立中央病院患者支援センター・医療福祉連携士6期生)

(3)「わたしはこんな理由で医療福祉連携講習会を受けました！」

高村純子(国立病院機構三重病院地域医療連携室医療社会事業専門職・9期生)

(4)「医療福祉連携講習会を受けて、こんな変化がありました！」

篠木里美(JA愛知厚生連海南病院地域医療連携課課長, がん相談支援センター・地域医療連携センター・9期生)

(5)「医療福祉連携士になるために必要なこととは」

大久保 一郎(横浜市健康福祉局衛生研究所 所長)

7月19日(金)13:50~15:20 E会場

2.「ダイバーシティの課題と展望」

7月19日(金)15:40~17:10 E会場

3.「多職種で考えるポリファーマシー」

7月20日(土)8:40~10:10 E会場

4.「集患と求人につながる病院広報」

7月20日(土)10:30~12:00 E会場

5.「画像診断報告書の確認漏れ対策」

◆市民公開講座

7月20日(土)16:00~17:00 A会場

「やさしさを届けるケア技術 ユマニチュード」

演者：本田 美和子(国立病院機構東京医療センター 総合内科)

座長：河嶋知子(独立行政法人地域医療機能推進機構 本部医療担当副部長)

◆一般演題(口演・ポスター)

◆クリティカルパス展示

◆ランチョンセミナー

◆ミニシンポジウム

7月19日(金)10:40~11:40 E会場

1.「医療安全管理者の業務における課題と養成研修のあり方」

座長：坂本すが(東京医療保健大学副学長)

兼児敏浩(三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授)

(1)「医療安全管理者が感じている業務上の困難～FGI(フォーカスグループインタビュー)の結果より～」

堀込由紀(群馬パース大学看護学科講師)

(2)「医療安全管理者の業務の実態～webアンケート調査の結果より～」

末永由理(東京医療保健大学医療保健学部看護学科教授)

(3)「医療安全管理者の研修に対するニーズ～webアンケート調査の結果より～」

【学術総会参加登録】

事前参加登録費：8,000円(当日参加登録費10,000円)

研修医4,000円(当日参加登録費5,000円)

学生2,000円(当日参加登録費3,000円)

※学生証もしくは職員証など所属長が発行した身分証が必要です。コピーを運営事務局にE-mailでお送りください。

懇親会参加費：7月19日(金)開催

3,000円(当日参加費4,000円)

抄録集販売費：2,000円(日本医療マネジメント学会会員には無料で配布いたします。)

事前参加登録受付期間：2018年12月4日(火)~2019年6月11日(火)